

資料編

－ 資 料 編 目 次 －

本資料編は、事後調査の結果の概要のうち、以下の項目について、詳細な図表等を整理したものです。

第 4 章 対象事業の実施状況

4.2 対象事業の実施状況

4.2.2 実施状況

付表- 4.2.2.1	記録を行った地物の一覧	資 1
付表- 4.2.2.2	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 92)	資 2
付表- 4.2.2.3	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 91)	資 6
付表- 4.2.2.4	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 87)	資 10
付表- 4.2.2.5	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 90)	資 14
付表- 4.2.2.6	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 88)	資 18
付表- 4.2.2.7	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 832)	資 22
付表- 4.2.2.8	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 84)	資 30
付表- 4.2.2.9	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 97)	資 36
付表- 4.2.2.10	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 834)	資 40
付表- 4.2.2.11	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 99)	資 44
付表- 4.2.2.12	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 100)	資 47
付表- 4.2.2.13	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 102)	資 52
付表- 4.2.2.14	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 101)	資 56
付表- 4.2.2.15	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 106)	資 60
付表- 4.2.2.16	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 104)	資 64
付表- 4.2.2.17	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 103)	資 68
付表- 4.2.2.18	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 105)	資 72
付表- 4.2.2.19	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 109)	資 76
付表- 4.2.2.20	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 110)	資 81
付表- 4.2.2.21	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 111)	資 85
付表- 4.2.2.22	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 112)	資 90
付表- 4.2.2.23	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 836)	資 94
付表- 4.2.2.24	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 114)	資 98
付表- 4.2.2.25	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 115)	資 102
付表- 4.2.2.26	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 116)	資 107
付表- 4.2.2.27	重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 118)	資 112

付表- 4.2.2.28	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 119)	資 115
付表- 4.2.2.29	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 120)	資 120
付表- 4.2.2.30	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 121)	資 124
付表- 4.2.2.31	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 122)	資 128
付表- 4.2.2.32	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 837)	資 132
付表- 4.2.2.33	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 123)	資 137
付表- 4.2.2.34	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 124)	資 141
付表- 4.2.2.35	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 125)	資 145
付表- 4.2.2.36	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 126)	資 149
付表- 4.2.2.37	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 127)	資 154
付表- 4.2.2.38	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 128)	資 158
付表- 4.2.2.39	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 129)	資 161
付表- 4.2.2.40	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 132)	資 164
付表- 4.2.2.41	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 135)	資 168
付表- 4.2.2.42	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 136)	資 172
付表- 4.2.2.43	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 137)	資 176
付表- 4.2.2.44	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 138)	資 180
付表- 4.2.2.45	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 140)	資 185
付表- 4.2.2.46	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 141)	資 189
付表- 4.2.2.47	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 195)	資 193
付表- 4.2.2.48	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 196)	資 198
付表- 4.2.2.49	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 197)	資 203
付表- 4.2.2.50	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 198)	資 208
付表- 4.2.2.51	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 199)	資 212
付表- 4.2.2.52	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 200)	資 218
付表- 4.2.2.53	重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 201)	資 223

第 6 章 事後調査の結果の概要

6.1 平成 26 年 7 月から実施した事後調査

6.1.2 陸域生態系（基盤環境、生態系の機能と構造）

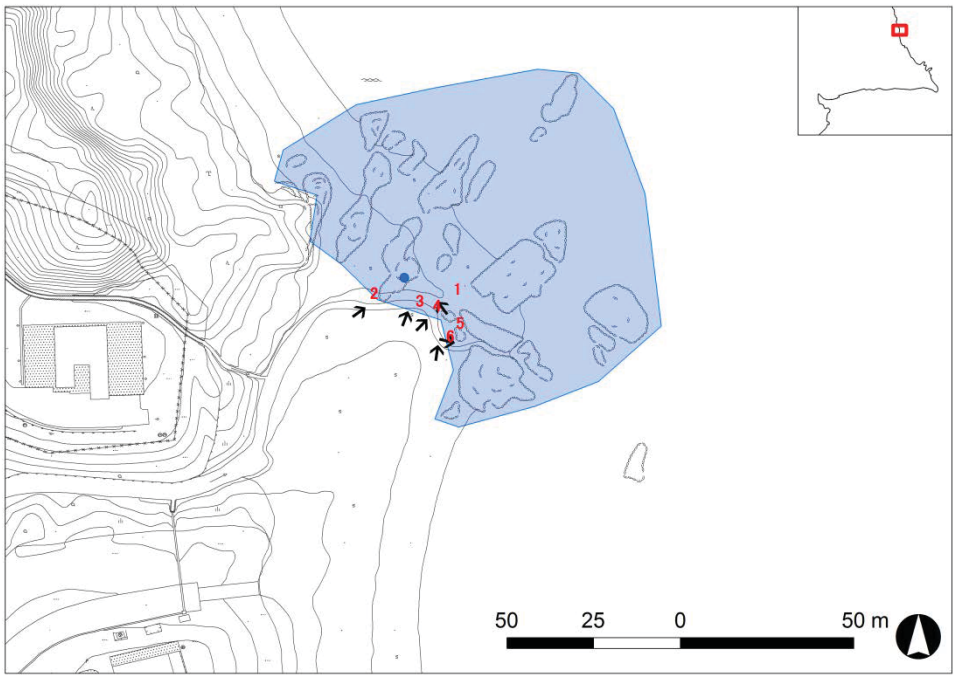
付表-6.1.2.1	哺乳類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 227
付表-6.1.2.2	鳥類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 227
付表-6.1.2.3	両生類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 229
付表-6.1.2.4	爬虫類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 229
付表-6.1.2.5	昆虫類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 230
付表-6.1.2.6	クモ類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 265
付表-6.1.2.7	陸産貝類出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 269
付表-6.1.2.8	オカヤドカリ類・オカガニ類出現種一覧 (平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 271
付表-6.1.2.9	その他(多足類)出現種一覧 (平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 271
付表-6.1.2.10	水生動物出現種一覧(平成 26 年度夏季～平成 27 年度冬季) ……	資 272
付図-6.1.2.1	重要な種の確認地点(哺乳類) ……	資 282
付図-6.1.2.2	重要な種の確認地点(鳥類) ……	資 285
付図-6.1.2.3	重要な種の確認地点(両生類) ……	資 302
付図-6.1.2.4	重要な種の確認地点(爬虫類) ……	資 304
付図-6.1.2.5	重要な種の確認地点(昆虫類) ……	資 307
付図-6.1.2.6	重要な種の確認地点(クモ類) ……	資 337
付図-6.1.2.7	重要な種の確認地点(陸産貝類) ……	資 338
付図-6.1.2.8	重要な種の確認地点(オカヤドカリ類・オカガニ類) ……	資 355
付図-6.1.2.9	重要な種の確認地点(多足類) ……	資 359
付図-6.1.2.10	重要な種の確認地点(魚類) ……	資 360
付図-6.1.2.11	重要な種の確認地点(甲殻類) ……	資 375
付図-6.1.2.12	重要な種の確認地点(貝類) ……	資 394
付図-6.1.2.13	重要な種の確認地点(水生昆虫類) ……	資 434

付表- 4.2.2.1 記録を行った地物の一覧

確認地点番号	「重要な地形・地質」の区分	確認地点番号	「重要な地形・地質」の区分
92	波蝕棚	119	嘉陽層の露頭（褶曲）
91	嘉陽層の露頭（褶曲）	120	波蝕棚
87	波蝕棚	121	波蝕棚
90	海蝕洞・石灰洞	122	波蝕棚
88	嘉陽層の露頭（断層）	837	嘉陽層の露頭（褶曲）
832	嘉陽層の露頭（断層）	123	波蝕棚
84	嘉陽層の露頭（互層）	124	波蝕棚
97	カスプ	125	不整合の露頭
834	嘉陽層の露頭（互層）	126	波蝕棚
99	波蝕棚	127	波蝕棚
100	嘉陽層の露頭（断層）	128	波蝕棚
102	波蝕棚	129	波蝕棚
101	海蝕洞・石灰洞	132	波蝕棚、トンボロ
106	ポットホール	135	嘉陽層の露頭（褶曲）
104	湧水・浸み出し	136	嘉陽層の露頭（褶曲）
103	海蝕洞・石灰洞	137	嘉陽層の露頭（褶曲）
105	湧水・浸み出し	138	嘉陽層の露頭（褶曲）、波蝕棚
109	ポットホール	140	波蝕棚
110	波蝕棚	141	不整合面の露頭
111	波蝕棚	195	不整合面の露頭、波蝕棚
112	ポットホール	196	ノッチ
836	嘉陽層の露頭（断層）	197	嘉陽層の露頭（褶曲）、海蝕洞・石灰洞
114	海蝕洞・石灰洞	198	波蝕棚
115	海蝕洞・石灰洞	199	ノッチ、波蝕棚
116	波蝕棚、嘉陽層の露頭（互層）	200	海蝕洞・石灰洞、トンボロ
118	波蝕棚	201	ノッチ、波蝕棚
		以上 11 区分、60 件	

※評価書に記載された確認地点番号を示しています。

付表- 4.2.2.2 (1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 92)

No.	92
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	辺野古崎の北西約 1,500m に位置する辺野古崎北方海岸に見られる波蝕棚である。周辺には砂浜が広がり波蝕棚の低い場所は大半が砂で埋まっている。
位置	 <div data-bbox="384 1211 818 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【No.92 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31′ 54.8194″ ・経度:128° 02′ 45.3446″ ・標高(EL):3.092m ・標高(DL):4.255m </div>
形状・構造	海岸線に沿って幅 50m 程度、沖合に向かって 50m 程度の範囲に波蝕棚が分布する。水面上に露出する突出する岩棚は疎らで、各岩棚の間には砂が堆積し、海蝕棚を覆って砂浜が形成されている。位置を特定する測量は海岸線寄りの高さ約 2m の大岩の上で行った。
規模	波蝕棚は、海岸線に沿って幅約 50m、沖合に向かって約 50m の範囲である。
その他 (保存状態)	海岸線寄りには砂が堆積し、波蝕棚が砂で埋まっている。

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.92 観測点座標】

- ・緯度: 26° 31' 54.8194"
- ・経度: 128° 02' 45.3446"
- ・標高(EL): 3.092m
- ・標高(DL): 4.255m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形変化区域における 重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体 92
期日	平成 26 年 6 月 30 日
受注者	(株)プレック研究所

調査地点: No.92(波蝕棚)

撮影日時: 2014.6.30 8:56



位置情報: 緯度 26° 31' 54.25"
経度 128° 02' 45.43"
撮影方向: 東



位置情報: 緯度 26° 31' 54.46"
経度 128° 02' 44.99"
撮影方向: 南南東



位置情報: 緯度 26° 31' 54.80"
経度 128° 02' 45.02"
撮影方向: 南南西



位置情報: 緯度 26° 31' 54.51"
経度 128° 02' 45.85"
撮影方向: 北西

付表- 4.2.2.2(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 92)

写真



写真 (No.92①)
南東方向から波蝕棚の小高い岩に向けて撮影した。岩の
高さは砂浜から約
2m の高さである。



写真 (No.92②)
小高い岩を陸側から撮影した。岩の周
囲は砂浜である。



写真 (No.92③)
同上。
岩の地質は嘉陽層
の砂泥の互層であ
る。

写真



写真 (No.92④)
測量した岩よりも海側に位置する波蝕棚上の小高い岩。高さは砂浜から 2m 程度である。

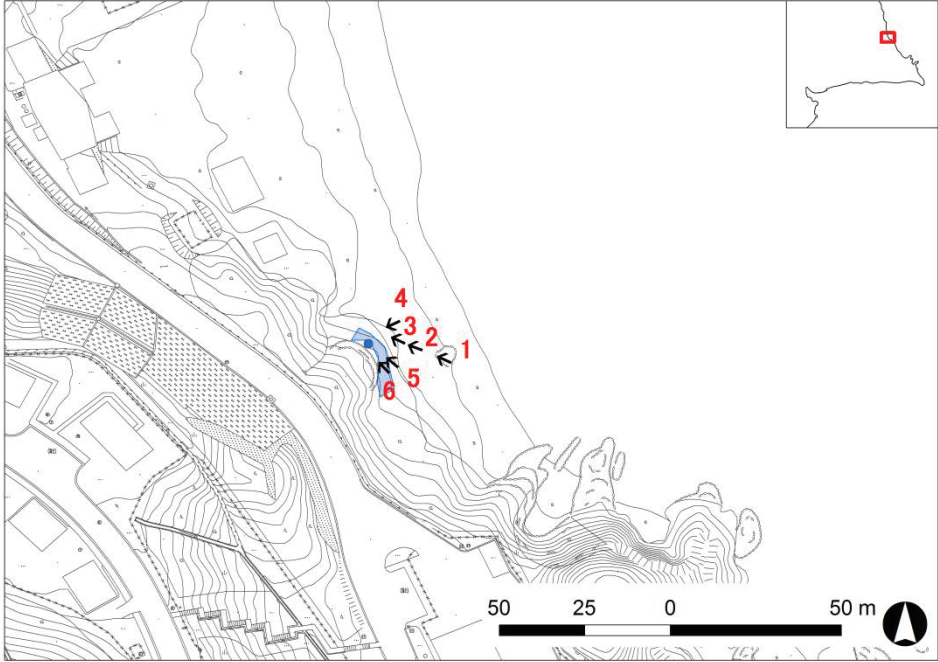


写真 (No.92⑤)
波蝕棚の分布範囲のうち水面上にみられる最南端の岩。岩の上に人工構造物がみられる。周辺は砂に埋まっている。



写真 (No.92⑥)
測量を行った小高い岩を南の方向から撮影した。背後に海蝕崖の露頭が見える。

付表- 4.2.2.3(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 91)

No.	91
種類	嘉陽層の露頭(褶曲)
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	辺野古崎の北西約 1,200m に位置する海蝕崖の露頭で、嘉陽層の褶曲が観察できる。崖の大半は植生に覆われ見えない。 露頭に向かって左側に嘉陽層を覆って洪積世の不整合面が見られる。
位置	 <div data-bbox="384 1220 821 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【No.91 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度: 26° 31' 45.2435" ・経度: 128° 02' 45.8240" ・標高(EL): 2.847m ・標高(DL): 4.010m </div>
形状・構造	高さ 5m 程度の海蝕崖に高さ約 3m、幅 10m 前後の露出面があり、他は植生で覆われている。露頭に向かって左側に不整合面がみられる。
規模	幅約 10m、高さ約 3m 程度の規模の露頭。
その他 (保存状態)	平成 20 年調査時の写真に比べると、やや砂が堆積し、露頭が見えにくくなっている様子が伺える。

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.91 観測点座標】

- ・緯度: 26° 31' 45.2435"
- ・経度: 128° 02' 45.8240"
- ・標高(EL): 2.847m
- ・標高(DL): 4.010m



調査地点: No.91 (嘉陽層の露頭(褶曲))

撮影日時: 2014.6.30 9:12



位置情報: 緯度 26° 31' 45.26"
経度 128° 02' 46.19"
撮影方向: 西



位置情報: 緯度 26° 31' 45.12"
経度 128° 02' 46.17"
撮影方向: 南西



位置情報: 緯度 26° 31' 45.41"
経度 128° 02' 46.05"
撮影方向: 南西



位置情報: 緯度 26° 31' 45.42"
経度 128° 02' 45.94"
撮影方向: 南東

付表- 4.2.2.3(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 91)

写真



写真 (No.91①)
露頭がある海蝕崖を
南東方向から撮影。



写真 (No.91②)
同上。
赤白ポール付近に
褶曲が観察できる。
崖の大半は植生に
覆われ、露頭前面の
砂の堆積地にも海浜
植物であるハマヒル
ガオが侵入しつつあ
る。

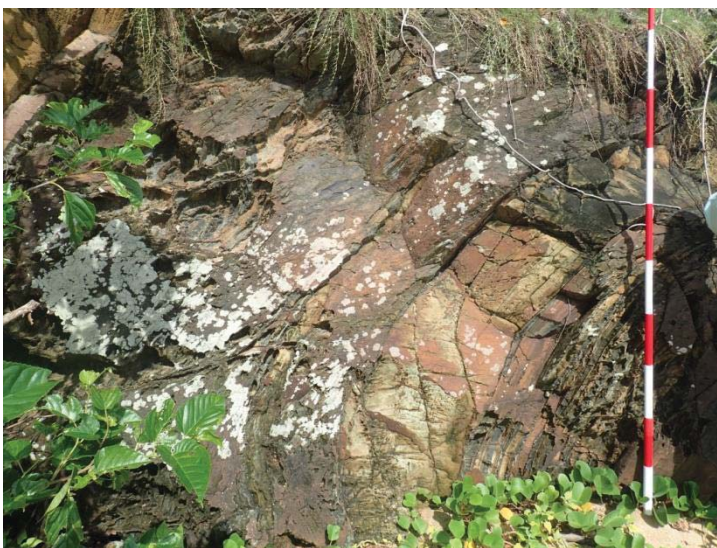


写真 (No.91③)
同上。

写真



写真 (No.91④)
写真③の向かって右側を撮影した。露頭の反対の面は植生で覆われ見えない。

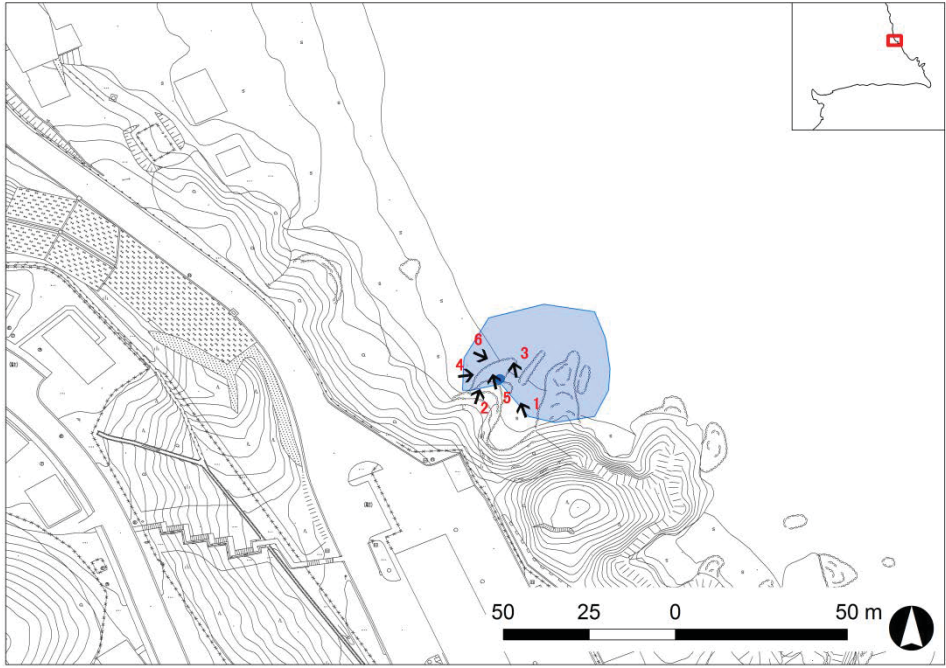


写真 (No.91⑤)
嘉陽層の褶曲。
写真中央やや上にハンマーが写っている。



写真 (No.91⑥)
写真⑤の向かって左側を撮影した。

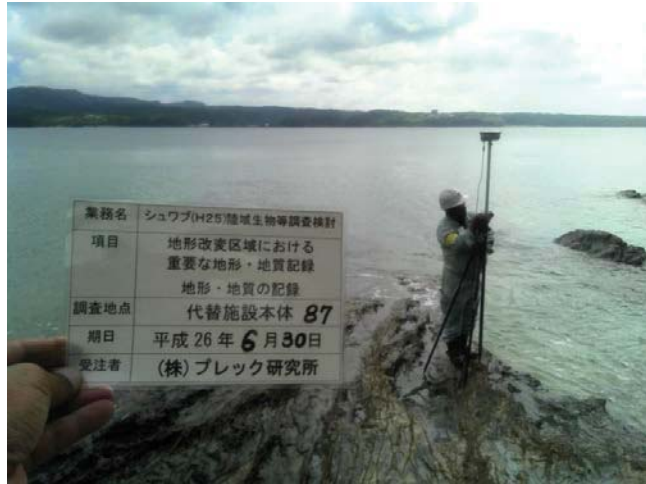
付表- 4.2.2.4(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 87)

No.	87
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 1,150m に位置する波蝕棚で、小さな凸型に張り出した海蝕崖の前面にみられる。地質は嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層である。</p> <p>水面からやや高く、波蝕棚の表面は沖合に向かってやや傾いている。</p>
位置	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.87 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度: 26° 31' 44.0920" ・経度: 128° 02' 47.4055" ・標高(EL): 1.022m ・標高(DL): 2.185m </div>
形状・構造	海岸線沿いにある海蝕崖の前面に連続する波蝕棚で、海岸線に沿った幅は約 30m、沖合に向かって 20~30m と比較的狭い波蝕棚である。
規模	海岸線沿いに幅約 30m、沖合に向かって 20~30m 程度の範囲である。
その他 (保存状態)	海岸線寄りの周辺は砂が堆積している。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.87 観測点座標】

- ・緯度: 26° 31' 44.0920"
- ・経度: 128° 02' 47.4055"
- ・標高(EL): 1.022m
- ・標高(DL): 2.185m



調査地点: No.87(波蝕棚)

撮影日時: 2014.6.30 9:24



位置情報: 緯度 26° 31' 44.23"
経度 128° 02' 47.04"
撮影方向: 東

位置情報: 緯度 26° 31' 44.15"
経度 128° 02' 47.01"
撮影方向: 東北東



位置情報: 緯度 26° 31' 44.04"
経度 128° 02' 47.31"
撮影方向: 北東

位置情報: 緯度 26° 31' 43.71"
経度 128° 02' 47.50"
撮影方向: 北

付表- 4.2.2.4(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 87)

写真



写真 (No.87①)
海蝕崖の前面にみられる比較的小規模な波蝕棚。



写真 (No.87②)
同上。
地質は嘉陽層の互層で、走向傾斜はN30E、30° (NW 向き)で、北西に傾いている。



写真 (No.87③)
同上。

写真



写真 (No.87④)
嘉陽層の互層がみられる波蝕棚。
走向・傾斜は、
N40E、45° (NNW 向き)で、北向きに傾いている。



写真 (No.87⑤)
同上。



写真 (No.87⑥)
同上。